

NPO 建築とアートの道場（申請中）2017 春連続レクチャー

『建築評論の現在—建築と言葉の応答』 produced by 長谷川逸子、Lecture Curation 今村創平

建築が続く限り、私たちの社会の基盤である「言葉」を用いて、建築を語る企図＝「評論」がなくなることはないでしょう。かつて、建築家の原広司氏は、「所詮、設計は、空間と言葉の鬼ごっこなのだ。」と記しました。私たちは建築を語る場を設け、議論を活性化する必要があると考えています。若手の建築評論家、建築家の方に話を講演いただき、その内容について参加された方々と意見交換を行いたいと思います。ひらかれた建築議論の道場となることを願っています。（今村創平）

2017年4月8日(土) 18:00-20:00 gallery IHA Lecture room (1F)



平野利樹 「オブジェクト、けったいさ」

ゲストクリティック：能作文徳

2017年4月22日(土) 18:00-20:00 gallery IHA Lecture room (1F)



小淵祐介 「建築評論はだれに語られるのか？」

ゲストクリティック：塚本由晴

2017年5月6日(土) 18:00-20:00 gallery IHA Lecture room (1F)



門脇耕三 「建築のデリバリー  
——建築的知性の遍在化の日本における展開」

ゲストクリティック：北山恒

2017年5月20日(土) 18:00-20:00 gallery IHA Lecture room (1F)



南後由和 「コンスタントのニューバビロン論  
——シチュアシオニストの都市・建築」

ゲストクリティック：藤原徹平、金野千恵

2017年5月27日(土) 18:00-20:00 gallery IHA Lecture room (1F)



浅子佳英 「(仮)インテリアデザイン」

ゲストクリティック：太田佳代子、大西麻貴

gallery IHA

BY-HOUSE 1-9-7 Yushima, Bunkyo-ku, Tokyo #113-0034  
gallery.ih@ihasegawa.com  
open 火 - 土 11:00-18:00、日・月・祝日休

小淵祐介

1969年生まれ。東京大学大学院建築学専攻准教授。東京大学 Advanced Design Studies ディレクター。T\_ADS Media Initiative Lab ディレクター。AA スクール Design Research Lab 前ディレクター。共著に『AADRL Documents 2, DRL TEN: A Design Research Compendium』(Architectural Association London, 2008)、『AA Agendas 8 Nine Problems in the Form of a Pavilion』(Architectural Association London, 2010)、『これからの建築理論 (T\_ADS TEXTS 01)』(東京大学出版会、2014) ほか。

門脇耕三

1977年生まれ。明治大学理工学部専任講師。近代都市と近代建築が、人口減少期を迎えて変わりゆく姿を、建築思想の領域から考察。2001年東京都立大学大学院工学研究科修士課程修了。2012年～アソシエイツ設立・パートナー、2016年～東京藝術大学非常勤講師・博士(工学)。編著共著に『シェアの思想／または愛と制度と空間の関係』(LIXIL 出版、2015)、『B面がA面にかわるとき』(鹿島出版会、2016) など。

平野利樹

1985年生まれ。2009年京都大学建築学科卒業、2012年プリンストン大学建築学部修士課程修了後、Reiser + Umemoto 勤務。2016年東京大学建築学専攻博士課程修了。2013年より東京を拠点としてToshiki Hirano Designを主宰する。同年よりJapanese Junction ディレクターも務める。受賞歴にSuzanne Kolarik Underwood 賞(プリンストン大学修士設計最優秀賞)など。作品として《Ontology of Holes》(山本現代展示)など。主な論考として「建築における「オブジェクト批判」の系譜」(博士学位論文)、「スペキュラティブ・デザインの奇妙さ、モノの奇妙さ——建築の「わかりやすさ」を越えて」(10+1 Website 2016年4月号掲載)、「試論—タイムズ・スクエア、エロティシズム」(traverse 15 掲載)など。

全回予約制

参加費 500 円

お申し込み先

e-mail: gallery.ih@ihasegawa.com

fax: 03-3818-1821

①ご希望の月日、②お名前、③ご所属(任意)を添えてお申し込みください。

また、参加費は当日受付にてお支払いください。

浅子佳英

1972年生まれ。タカバネスタジオ代表、日本大学非常勤講師。建築設計、インテリアデザイン、建築批評。作品に「gray」、「フラメンコレストランガルロチ」(安藤僚子との共同設計) ほか。主な論文に『コム デギャルソンのインテリアデザイン』(思想地図β vol.1)。共著に『レム・コールハースは何を変えたのか』(鹿島出版会、2014)、『これからの「カッコよさ」の話をしよう』(角川書店、2016)、『TOKYO インテリアツアー』(LIXIL、2016)、『B面がA面にかわるとき』(鹿島出版会、2016) ほか。

南後由和

1979年生まれ。明治大学情報コミュニケーション学部専任講師。社会学、都市・建築論。東京大学大学院学際情報学府博士課程単位取得退学。編著に『建築の際』(平凡社、2015)、共著に『商業空間は何の夢を見たか』(平凡社、2016)、『20世紀の思想から考える、これからの都市・建築』(彰国社、2016)、『路上と観察をめぐる表現史』(フィルムアート社、2013)、編集協力に『磯崎新建築論集7 建築のキュレーション』(岩波書店、2013) など。

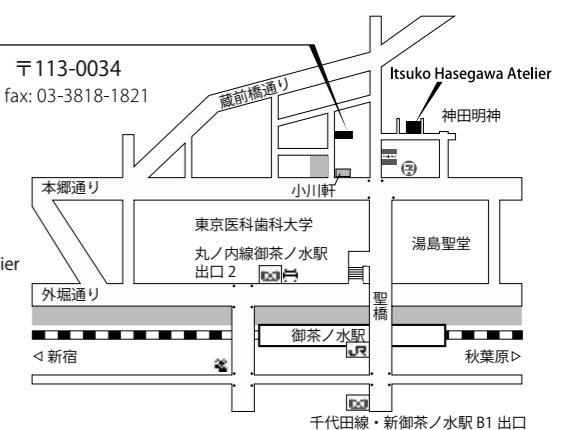
今村創平

1966年東京生まれ。建築家。千葉工業大学 創造工学部建築学科 准教授。早稲田大学卒。A Aスクール、長谷川逸子・建築計画工房を経て独立、アトリエ・イマム主宰。ブリティッシュ・コロンビア大学大学院兼任教授。南カルフォルニア建築大学、芝浦工業大学大学院、工学院大学、東京理科大学、桑沢デザイン研究所などにて非常勤講師。作品＝《神宮前の住宅》、《大井町の集合住宅》、《富士ふたば幼稚園》、《オーストラリア大使館バイク・シェッド》など。著書＝『現代都市理論講義』(オーム社)、共著＝『現代住居コンセプト』(LIXIL 出版)、『ヴィヴィッド・テクノロジー』(学芸出版社)など。訳書＝アンソニー・ヴィドラー著『20世紀建築の発明』(鹿島出版会)。日本建築家協会 機関誌 JIA MAGAZINE 編集長。

gallery IHA

文京区湯島 1-9-7 〒113-0034  
tel: 03-3818-5470 fax: 03-3818-1821

1F Lecture Room  
2F Exhibition Room  
3F Meeting Room  
4-5F Exhibition of  
Itsuko Hasegawa Atelier



gallery IHA